



令和5年度 茨城県立古河第三高等学校

学校経営計画表(グランドデザイン)

本校教育の目標 ～ 校訓「自立・敬愛・創造」～

「自立・敬愛・創造」の校訓のもと、一人一人の個性と資質・能力の伸長を図り、広く社会に貢献することができる人材を育成する。

- 自ら学び、考え、判断し、行動できる生徒を育む学校
- 自他共に尊重し、思いやりの心にあふれた生徒を育む学校
- 柔軟な思考で、気概を持って未来を切り拓く力をそなえた生徒を育む学校

令和5年度重点目標

- ①生徒が希望する上級学校への進学を実現
- ②家庭学習の習慣化
- ③豊かな人間性を身につけるための多様な取り組み
- ④広報活動の充実
- ⑤個に応じた指導
- ⑥学校安全の徹底
- ⑦働き方改革の推進
- ⑧授業改善

豊かな人間性

- ・授業や課外活動を通じた、自己有用感の高揚及び自主性・自立心の育成
- ・部活動・生徒会活動・JRC委員会・学校行事など教科外活動の充実
- ・責任を持って行動する態度の育成

健康・体力

- ・部活動・ボランティア活動への積極的参加および活動時間の確保
- ・文化祭・球技会等の学校行事への主体的参加
- ・健康についての自己管理能力の向上

何ができるようになるか

- ◇ 1年「自己発見」 2年「自己発展」 3年「自己実現」

何が身についたか

- ◇ 観点別学習状況評価・ルーブリック評価・自己評価
- ◇ 各生徒の学びの記録（探究・キャリア学習・上級学校研究等）

生徒の実態

- ◇ 穏やかで優しく思いやりのある生徒が多い。
- ◇ 協働する力があり、ボランティア精神が豊かである。
- ◇ 学びの姿勢は前向きだが受動的である。
- ◇ 主体的な行動力がやや不足している。
- ◇ 経験・体験が比較的少ない。



配慮を必要とする生徒への指導

- ・不登校傾向にある生徒及び家庭への支援
- ・SC、SSW、教育関係機関との連携
- ・情報共有・生徒との面談

目指す生徒の姿

- ◇ 意欲にあふれ、自ら学び行動する生徒
→ **アクティブ・ラーナー**
- ◇ 多様性を尊重し、対話を通じてコミュニケーションをとりながら社会への貢献を目指す生徒
→ **グローバル市民**
- ◇ 将来的に地域の政治・経済・文化等を牽引することができる生徒
→ **地域のリーダー**

特色ある学び

- ◇ 探究 BASIC／探究 ACTIVE／探究 PRIME ～教科横断的学びを目指す～
- ◇ 文理のバランスに配慮し、難関大入試にも対応できる教育課程
- ◇ キャリア教育・SDGs 研修・学部学科研究
- ◇ 実力養成のための多様な課外講座

学びのスタイル

- ◇ 「主体的・対話的で深い学び」の推進～失敗を恐れない～
- ◇ ICT の活用（反転学習・学習アプリ等の補助的活用）
- ◇ 個に対応する教科指導
- ◇ 学習時間・学習計画の自己管理

実施するために何が必要か

- ・積極的な職員研修の実施（探究・SC 他）
- ・学期ごとの「相互授業参観期間」の設定
- ・年2回の学校評議員会の開催

安心・安全を守る

- ◇ 学期毎に実施する定期点検の内容充実
- ◇ 防災意識を高める学習・研修
- ◇ 交通安全への意識の啓発および危険予知・事故回避能力の向上

開かれた学校づくり

- ◇ 家庭・地域との情報共有
- ◇ 学校公開・中学校訪問・塾訪問・ホームページの活用
- ◇ 地域の行政機関や地元企業との連携
- ◇ 生徒の学びを地域や社会に還元する双方向型の連携